

重点政策評価調書

No.	2	重点政策名	新しい人の流れによるまちの賑わいづくり
目的・概要	<p>(1) 拠点施設等の整備による域内・域外交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形の魅力に触れる機会を提供し、地域の活性化及び地場産業の振興に資する拠点施設を整備します。 ・サッカースタジアムの整備は、モンテディオ山形など関係機関の意向を踏まえ、整備のあり方を検討します。 ・交流人口の拡大に向け、東北中央自動車道の延伸に合わせ、市の玄関口としての機能強化を図ります。また、土地利用の全体像を見据えた上で、交流人口拡大に向けた拠点施設の配置について検討します。 <p>(2) 観光の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外からを含む観光誘客の拡大を図るため、観光関連事業を一元的かつ広域的に担う組織を構築します。 ・山形市の持つ独自の観光資源に更に磨きをかけ、魅力を全国に発信することで、更なる知名度の向上を図り、観光客の誘客促進を図ります。観光を含む様々な情報を発信できる案内所の整備について、検討します。 <p>(3) 文化・スポーツの振興による交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の拡大に向け、文化資産を活用した多様な文化活動による賑わいの創出やスポーツイベントを通じた交流を促進します。 ・東京オリ・パラ競技大会を通して山形市の魅力を発信し、開催の効果を山形市まで波及させる取組を進めます。 <p>(4) U I J ターン及び定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の移住希望者に対し山形市をPRし移住を促進し、新たな人の流れによる定住人口の増加を図ります。 ・市外に進学した学生に向け、市内企業や就農に関する情報を広く発信し、マッチングを進めます。 ・移住先の選択に重要な要素となる、「しごと」・「住まい」などを創出・発信し、移住・定住を促進します。 <p>(5) 文化創造都市の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市固有の映像文化を軸とした芸術文化活動の振興により、まちの魅力を高め、地域活性化を図ります。 		

	指標名	目標値	当初値	H29実績値	達成度
成果指標	観光消費額	H29 370億円	—	295億円	↗
	住民基本台帳における転入者数－転出者数 ※計画期間延べ人数	5,206人	—	-432人	↘
	スマートインターチェンジ整備着手件数	1件	—	—	○
	道の駅整備着手件数	1件	—	—	○
	観光客入れ込み数	H29 3,200,000人	3,173,100人	3,047,100人	↘
	宿泊者数	395,600人	384,100人	381,600人	○
	山形国際ドキュメンタリー映画祭入場者数	26,000人	22,353人	22,089人	↘
	山形シティマラソン大会及び関連イベント参加者数	5,500人	4,977人	5,531人	◎
	移住相談件数	120件	5件	60件	○
	「ジョブっすやまがた」登録企業数	300社	—	145社	○
	空き家バンク登録物件数（計画期間延べ件数）	30件	0件	延べ4件	↗
	創造都市推進事業数	10事業	0事業	9事業	○

達成度 ◎:目標値を既に達成、○:H31まで目標値を達成できる見込み、
矢印表記:H31までに目標値達成できるか現時点では不明確のため、当初値からの状況を示す

	内容
評価結果	<p>【評価】</p> <p>イベントの開催により交流人口の拡大に一定の寄与はしているものの、観光客入れ込み数や宿泊者数の増加に結び付いていない。今後スマートインターチェンジや道の駅の整備着手により、更なる交流人口の拡大につなげる必要がある。</p> <p>また、移住相談件数は増加している一方で、移住希望者を取り込み、定住者の増加に結び付けなければならない。</p> <p>平成29年度にユネスコ創造都市ネットワークへの加盟が認められたが、今後も文化創造都市の推進を図っていく必要がある。</p>

No.	2-1	重点政策名	2. 新しい人の流れによるまちの賑わいづくり
主管課	企画調整課	施策名	(1) 拠点施設等の整備による域内・域外交流の促進
目的・概要	<p>①交流人口拡大に向けた拠点施設の整備 大規模直売所や地元農産物を活用したレストラン、加工品販売などの機能を有する「食と農」を中心とした道の駅を整備し、観光・交流の拠点とします。 株式会社モンテディオ山形、山形県及び周辺市町の意向を踏まえ、コンサートなどのイベント開催も可能なサッカースタジアムの市内への整備について、調査・検討を行います。</p>		
	<p>②東北中央自動車道福島開通に合わせたゲート機能強化 東北中央自動車道の南陽高島IC-山形上山IC間が開通することを受け、パーキングエリアの利活用やスマートインターチェンジの設置について検討し、市の新たな玄関口としての機能拡大を図ります。</p>		

成果指標	指標名	当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31
		スマートインターチェンジ整備着手件数	—	1件	—	—	—	
	道の駅整備着手件数	—	1件	—	—	—		

主要事業名	事業費（千円）						進捗状況
	H27決算	H28決算	H29決算	H30予算	H31	合計	
道の駅整備事業	2,106	170	8	11,068			事業中
	事業概要	<p>【H27】道の駅整備に係る基礎調査を実施(委託)。4つの地域を候補地として調査検討 【H28】27年度の調査結果を踏まえ、候補地を比較検討し山形中央IC付近、山形上山IC付近の2箇所を選定 【H29】「道の駅整備の背景」と「道の駅『(仮称)表蔵王』基本構想」で構成する「山形市道の駅整備構想」を策定した。山形中央IC付近の道の駅について、地元の榎沢地区と意見交換等を行った。</p>					
	課題等	都市計画道路榎沢山辺中山線の国道112号のバイパス化としての整備等の進捗状況を勧案する必要がある。					
サッカースタジアム整備検討事業	0	0	0	480			事業中
	事業概要	<p>【H27】県や関係機関からの情報収集・調査・検討 ドーム型競技場建設基金の廃止 【H28】県やモンテディオ山形及び「新スタジアム推進事業体設立検討委員会」からの情報収集 【H29】県やモンテディオ山形及び「新スタジアム推進事業(株)」からの情報収集</p>					
	課題等						

	1,998	352	987	13,048			事業中
スマートインターチェンジ整備事業	事業概要	【H27】東北中央自動車道本線及び交差道路の状況、田園等の地理状況、周辺施設の調査、設置可能区間の整理。 【H28】他都市の事例調査、関係機関との協議等。 【H29】スマートIC設置候補地として、山形PAと山形JCT周辺の2箇所を選定。国土交通省やNEXCO東日本など関係機関と勉強会を3回実施。					
	課題等						
	0	2,138	57,299	0			事業中
パーキングエリア活用事業	事業概要	【H28】パーキングエリアの利活用を図るため、ボックスカルバートの延伸に関する協議、現況調査、基本構想に向けた基本的な調査。 【H29】山形PA工事に合わせ、高速道路を横断するボックスカルバートの延伸工事を実施。事業費57,291千円はH30に繰越。					
	課題等	スマートICの設置及び西公園の利活用等と併せて、効果的な整備手法を検討する必要がある。					
	4,104	2,660	58,294	24,596	0	0	

	内容						
評価結果	【評価】 国や県など外部の関係機関等との調整を要する事業が多いが目標達成に向け前進している。						
	【課題】						
	【今後の方向性】 国や県など外部の関係機関等との調整が必要なものが多いため、連携を密にし目標達成に向けて事業を進めていく。 拠点施設の整備にあたっては、単に施設を整備するだけでなく地域振興の核として地方創生を担う拠点となるよう進めていく。						

No.	2-2	重点政策名	2. 新しい人の流れによるまちの賑わいづくり
主管課	観光戦略課	施策名	(2) 観光の振興
目的・概要	<p>①通年型・体験型観光の基盤づくり 祭りなどのイベントによる一過性の誘客だけでなく、通年で観光客を呼び込むことのできる体制を構築するため、蔵王や山寺といった市独自の観光資源を共有する近隣市町や観光関連団体等と連携し、観光誘客に関する機能を包括的に有するDMOの組織化により、観光客のニーズを捉えたおもてなしが可能となるような体制を整備します。</p> <p>②観光資源の魅力向上と情報発信 観光やビジネスで山形市を訪れる方が、その人の目的や希望にあった過ごし方ができるよう、観光資源のみならず、市の持つ固有の資源を有機的に連携させた情報発信を、対面で行うことのできる観光案内所の整備について検討します。また、山形の実感を、また訪れたいと感じてもらえるよう、市の持つ独自の観光資源の魅力をもっと高めるとともに、トップセールス等により広く情報発信に努めます。</p>		

成果指標	指標名	当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31
	観光客入れ込み数	3,173,100人	H29 3,200,000人	2,953,100人	3,063,500人	3,047,100人		
宿泊者数	384,100人	395,600人	380,400人	389,300人	381,600人			

主要事業名	事業費（千円）						進捗状況
	H27決算	H28決算	H29決算	H30予算	H31	合計	
山形・上山・天童三市連携・DMO構築による観光客誘客事業	10,196	65,000	25,000	21,750			事業中
	事業概要	<p>【H27】：データに基づいた観光振興を図るため、観光客動向調査等を実施し、地域資源を活用した旅行商品の品質管理や観光資源管理等のノウハウの共有を図りモニターツアーを実施するなどDMO機能を検証。</p> <p>【H28】：データに基づいた観光振興を図るため、観光客動向調査等を実施。着地型旅行商品の企画、造成事業。旅行業関係の販売、予約、受入、精算システムの構築。平成29年3月31日 地域商社「おもてなし山形株」設立</p> <p>【H29】：データに基づいた観光振興を図るため、観光客動向調査等を実施。地域部会による着地型旅行商品の企画、造成事業。ワンストップで観光に関する情報収集、宿泊、飲食、アクティビティ等予約・決済まで一元的に行えるシステムの構築。</p>					
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・「山形版DMO」の自立運営を図るため、DMC「おもてなし山形株」による収益事業の充実。 ・観光消費額の押し上げ等による地域内での経済波及効果（キャッシュフロー）の向上 ・民間事業者が積極的に事業参加できる環境整備。 					
コンベンション誘致推進事業	39,252	40,084	39,934	39,692			事業中
	事業概要	<p>誘致事業の継続実施。「国際MICEエキスポ」への出展。山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」の制作・配布。コンベンション参加者・主催者用コンテンツアプリ「やまがたMICEなび」の情報更新 コンベンション開催件数 【H27】74件 【H28】89件 【H29】67件</p>					
	課題等	国際規模の会議開催増に向けた誘致・支援活動をより進めていく必要がある。					

広域観光開拓事業	2,765	2,751	2,927	2,930			事業中
	事業概要	仙台市、福島市、山形市による観光物産展の開催や観光プロモーションによる誘客促進、農産品・食品の販路拡大等 観光プロモーション(首都圏、名古屋、関西及び福岡)の実施。観光物産展の実施					
	課題の内容	DMOと連携した観光誘客事業を推進する必要がある。					
山形まるごと市開催支援事業	700	700	700	700			事業中
	事業概要	蔵王(蔵王温泉高湯通り)、山寺(宝珠橋公園)、高瀬(産地直売所たかせ)、西蔵王(野草園料金所付近)の4会場において、地元野菜や果物などの産地直売する「山形まるごと市」を実施した。H29年度は、仙山連携の一環として「湯のまち作並 観光交流館 ラサンタ」での開催も行った。 【H27】81回 【H28】90回 【H29】91回					
	課題等	認知度の向上、ルート周遊者の増加、仙山連携としての継続					
日本一の観光案内推進事業	0	0	52	12,112			事業中
	事業概要	山形市の観光の中核的推進拠点として「日本一の観光案内所」を整備する。 【H27】なし 【H28】八戸市・仙台市の観光案内所の現場調査を行った。 【H29】首都圏の観光案内所の現場調査を行い、外国人観光案内所の認定を受けるための準備を行った。					
	課題の内容	日本一の観光案内所の具体的な設置場所及び、設置内容について決定する必要がある。					
観光情報発信事業	4,819	160	245	22			事業中
	事業概要	【H27】スマートフォンアプリ等を活用した山形市観光情報発信事業 SNSを活用した山形市観光情報発信事業 【H28】スマートフォンアプリ等を活用した観光情報発信事業 【H29】スマートフォンアプリ等を活用した山形市観光情報発信事業(英語字幕版を作成)					
	課題等						
地域資源活用誘客促進事業	2,500						完了
	事業概要	【H27】「やまがた愛の武将隊」の運営を支援し、誘客を図る。					
	課題の内容						
海外誘客プロモーション事業	4,598						完了
	事業概要	【H27】ミラノ万博花笠踊り派遣事業、東北六市連携観光物産フェア事業、日台観光サミット観光プロモーション事業 【H28】なし(H28年度以降は、新設された東北観光復興対策交付金等を活用し、各種海外誘客プロモーションを実施)					
	課題等						

山形の観光と物産展実行委員会支援事業	7,247	6,248	6,246	10,157			事業中
	事業概要	山形の観光と物産展の開催 【H27】5.27～6.2高島屋横浜店 市内出店者数25社 【H28】6.1～6.7高島屋横浜店 市内出店者数26社 【H29】5.31～6.6高島屋横浜店 市内出店者数26社 その他観光誘客宣伝事業の支援					
	課題等						
山形まるごと活用・体験推進事業	6,107	5,407	5,696	6,069			事業中
	事業概要	観光農園・直売所等のネットワーク作りのため、山形市グリーン・ツーリズム振興協議会への支援。フードテックジャパン出展時の補助。【H27、H28、H29】各1社 特産農畜産物の知名度向上・消費拡大イベントの実施【H27】東京 【H28、29】東京・大阪 「地産地消の店」認定【H27】新規8件・更新18件【H28】新規5件・更新5件【H29】					
	課題等	グリーン・ツーリズム振興事業について、DMOとの連携、観農連携を念頭に事業を進展させることが必要。					
	78,184	120,350	80,800	93,432	0	0	

	内容
評価結果	<p>【評価】 各事業とも、計画通りに事業が進捗しているが、夏に天候不順の日が多かったことから、登山客を中心に観光客の入れ込み数と宿泊者数が落ち込んだことと、蔵王山の噴火警報などもあったことから目標値に至る事が出来なかった。</p> <p>【課題】 街なか観光については、全体的に昨年同様であったことから、山岳観光を中心に天候に左右されない対策が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 これまで通り、各事業に取り組んでいくとともに、天候が悪い場合の、温泉施設など代替プラン情報などをこれまで以上に発信していき、天候等に左右されない安定的な誘客を推進していく。</p>

No.	2-3	重点政策名	2. 新しい人の流れによるまちの賑わいづくり
主管課	企画調整課	施策名	(3) 文化・スポーツの振興による交流人口の拡大
目的・概要	①文化振興による交流人口の拡大 国際的にも評価が高い山形国際ドキュメンタリー映画祭の開催を支援し、国内外からの交流人口の拡大を図ります。 山形城（現霞城公園）を中心とした城下町として、古くから残る市固有の歴史的財産をいかした歴史体験型イベントを開催し、交流人口の拡大を図ります。		
	②スポーツイベントを活用した交流人口の拡大 域外との交流を促進し、山形の魅力を広く発信する機会とするため、山形シティマラソン大会やスキージャンプワールドカップレディース蔵王大会などの各種スポーツ大会を開催し、地域経済の活性化を図ります。 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催効果を山形市にも波及させることができるよう、海外選手団の事前キャンプの誘致を進めるとともに、伝統工芸品や農産物等の山形ブランドのオリンピックでの活用を働きかけ、インバウンドを含む交流人口の拡大に繋がります。		

成果指標	指標名	当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31
		山形国際ドキュメンタリー映画祭入場者数	22,353人	26,000人	24,290人	-	22,089人	
	山形シティマラソン大会及び関連イベント参加者数	4,977人	5,500人	4,977人	5,408人	5,531人		

主要事業名	事業費（千円）						進捗状況
	H27決算	H28決算	H29決算	H30予算	H31	合計	
山形国際ドキュメンタリー映画祭開催費補助事業	99,848	49,711	99,916	50,000			事業中
	事業概要	【H28】「山形国際ドキュメンタリー映画祭2017」の開催のための準備事業に対する補助 【H29】「山形国際ドキュメンタリー映画祭2017」の開催補助 入場者計画 H27:22,000人 H29:25,000人 H31:26,000人					
	課題等	入場者の増加につながるPRや事業内容について検討していく。					
フィルムコミッション推進事業	1,000	1,000	1,000	1,000			事業中
	事業概要	ロケーション候補地に関する情報提供、撮影の誘致。ロケーション現場立会い、エキストラの手配協力、使用許可申請に関する相談など撮影の支援、協力。					
	課題等						
最上義光歴史館体験型文化振興事業	3,609						完了
	事業概要	【H27】観光の振興や郷土史への理解を深めるため、小学生を対象とし、最上義光に関する歴史講座や甲冑の着用体験イベントを開催した。 （平成27年度の単年度事業）					
	課題等						
山形シティマラソン大会開催事業	33,000	35,657	32,000	32,000			事業中
	事業概要	山形まるごとマラソンを開催 【H27】10.4(日)出走者数4,977名 【H28】10.2(日)出走者数5,008名 【H29】10.1(日)出走者数4,789名					
	課題等	関連イベントを含めて、大会に参加する方や観戦・応援する方を増やしていくとともに、より満足度の高い大会としていく方法を検討する必要がある。					

	42,632	42,400	45,400	45,400			事業中
スキージャンプワールドカップレディース蔵王大会開催事業	事業概要	FISスキージャンプワールドカップレディース蔵王大会開催。 【H27】H28.1.22～23 来場者数 6,900人 【H28】H29.1.20～21 来場者数 9,100人 【H29】H30.1.19～21 来場者数12,000人（団体戦開催のため1日増）					
	課題等						
	0	4,553	10,872	10,904			事業中
東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進事業	事業概要	【H27】庁内に東京五輪等戦略推進プロジェクトチームを設置。ホストタウン申請に向けての検討。大使館等への要望活動。 【H28】ホストタウン登録決定（サモア、台湾、タイ）。市長による台湾要望活動等、事前合宿招致に向けた取組みを実施。山形の物産を活用のため、オリパラ組織委員会への要望活動。「旅する新虎マーケット」事業へ参加し、物産・文化をPR。 【H29】タイ柔道連盟、サモア独立国との間で、五輪事前合宿を前提とした覚書を締結。オリパラ首長連合の「旅する新虎マーケット」事業や羽田空港地域文化PRイベント事業に参加。					
	課題等	・ホストタウン事業の推進体制の検討や市民への啓発。 ・東京五輪を機に文化を世界発信するため、文化プログラムへの積極的な参加。					
	180,089	133,321	189,188	139,304	0	0	

	内容
評価結果	<p>【評価】 概ね計画通りに進捗しているが、山形国際ドキュメンタリー映画祭の入場者数に減少があった。</p>
	<p>【課題】 スポーツや文化といった地域資源と観光（ツーリズム）を如何に組み合わせる事業展開を図っていくか、検討を進める必要がある。</p>
	<p>【今後の方向性】 2020年東京五輪を見据え、スポーツ・文化・ツーリズムに関し、より有効な連携の仕方についての検討を進める。</p>

No.	2-4	重点政策名	2. 新しい人の流れによるまちの賑わいづくり
主管課	企画調整課	施策名	(4) U I J ターン及び定住の促進
目的・概要	①移住・定住促進に向けた情報発信・相談体制の強化 移住を希望する人たちに対し、山形市を移住先として選択してもらえるよう、移住に関する情報を広く発信するとともに、相談体制の充実を図ります。また、移住者のライフスタイルに合わせた様々な働き方を実現できるような環境の整備を進めます。		
	②市内企業への就職促進による移住・定住者の確保 首都圏に進学した若者向け就職セミナー、合同企業説明会の開催や市内企業専用の求人情報サイトの運営により、地元企業の情報を発信するとともに、市内への就職を条件に奨学金を免除、減額し、就職時からの市内への回帰・定住を促進します。あわせて、第2新卒者※の地元での再就職を支援します。創業に関するセミナーやゼミを開催し、企業者の育成に努めるとともに、中心市街地への出店や初期投資に対する資金調達を支援し、市内での新規創業を促進します。また、首都圏での就農相談会の開催や農業体験機会の確保を進め、新規就農による新たな担い手の確保を図ります。		
	③移住者向け住環境の整備 移住者の住まいの受け皿として空き家バンクを開設するとともに、空き家への入居者が行うリフォームに対し補助を行い、空き家の有効活用による、移住者向けの住まいの確保を図ります。		

成果指標	指標名	当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31
	移住相談件数	5件	120件	—	40件	60件		
	「ジョブっすやまがた」登録企業数	—	300社	51社	114社	145社		
	空き家バンク登録物件数（計画期間延べ件数）	0件	30件	0件	1件	延べ4件		

主要事業名	事業費（千円）						進捗状況
	H27決算	H28決算	H29決算	H30予算	H31	合計	
移住・定住促進事業	—	11,920	12,323	32,130			事業中
	事業概要	【H27】平成28年度からの新規事業 【H28】移住促進サイト「real local」を構築し、移住に関して広く情報を発信。山形リノベーションまちづくり推進協議会と連携し、移住・定住促進セミナーを開催。 【H29】移住促進サイト「real local」を構築し、移住に関して広く情報を発信。山形リノベーションまちづくり推進協議会と連携し、移住・定住促進セミナー及び山形市の豊かな日常を体感してもらうツアーを開催。					
	課題等	移住促進サイト「real local」に掲載した記事をきっかけに、山形市に移住した事例が出始めたため、更にそうした事例を増やすために発信する情報等を工夫する必要がある。					
労働力確保推進事業	9,498	7,957	8,467	8,829			事業中
	事業概要	【H27～】首都圏での「就職セミナー・合同企業説明会」、就職活動中の子を持つ保護者を対象とするセミナーの開催。H28からは労働局、H29からは山形県と共同で開催。またH29から仙台市でも開催。山形市独自の求人情報サイト「ジョブっすやまがた」の運営 【H28～】地元企業の雇用に関するセミナーの開催					
	課題等	労働市場が売り手市場の中、首都圏在住の学生を地方の就職セミナーに多く集めるのが難しいため、PRの手法を工夫していく必要がある。					
創業支援事業(再掲)	152,349	152,348	152,270	256,417			事業中
	事業概要	雇用の確保、中心市街地活性化を進めていくため、市内における創業者数を増やしていく。そのために、創業者の支援を行う。 【H27】創業セミナー、創業ゼミを実施。創業者向け制度融資。 【H28、H29】前年に加え、創業アワードを実施。					
	課題等	創業セミナー、創業アワード等により多くの市民から参加してもらうため、さらに周知方法を工夫していく必要がある。					

	0	2,229	6,183	10,894			事業中
定住者向け奨学金返還支援事業	事業概要	「山形県奨学金返還支援事業」として、山形県及び県内市町村が共同して、大学等卒業後に山形県内で就業する等の要件を満たす方の奨学金の返還を支援する事業を実施する。 山形市分候補者学生数 【H27】39人、【H28】44人、【H29】42人					
	課題等	奨学金返還支援事業の候補となった学生に、市内企業に就職してもらうための施策が必要となる。					
新規就農支援事業(再掲)	17,177	49,261	54,143	59,453			事業中
	事業概要	高齢化や後継者不足などにより農業者の減少が進んでいる中、新規就農者の確保と安定した経営の支援に取り組んだ。 新規就農者数 【H27】28人 【H28】23人 【H29】21人					
	課題等	新規就農者の農業経営の安定のために、関係機関が連携し支援体制をより充実していく必要がある。					
空き家等対策推進事業	1,449	237	819	21,839			事業中
	事業概要	【H27】 空き家適正管理指導、老朽危険空き家除却補助金の交付 【H28】 空き家適正管理指導、空き家バンクの開設、空家等対策協議会の開催 【H29】 空き家適正管理指導、老朽危険空き家除却補助金の交付、 空き家バンクの運営、空き家バンク関連補助金の創設、 山形市空家等対策計画の策定、空家等対策協議会の開催					
	課題等	目標値に比べ、空き家バンク登録物件数、補助金の活用実績が少ない状況にある。					
住宅リフォーム総合支援事業	123,668	118,941	128,669	142,695			事業中
	事業概要	市内の施工業者を利用して住宅リフォームを行う場合、費用の一部について補助を行う。 【H27～】人口減少対策加算(三世帯世帯・移住世帯・近居世帯・新婚世帯・子育て世帯)が県の施策として追加された。 【H29】山形市の施策として、移住世帯及び空き家バンク登録空き家による申し込みに優先で補助を行った。					
	課題等						
	304,141	342,893	362,874	532,257	0	0	

	内容
評価結果	<p>【評価】</p> <p>庁内関係課による移住・定住推進プロジェクトチームを組織し、庁内横断的な推進体制を構築するとともに、リアルローカル山形による地域情報の発信及び移住相談窓口を構築するなど、おおむね計画通りに受入態勢を整備することができた。</p> <p>また、リアルローカル山形に掲載した記事をきっかけに、山形市に移住した事例も出始め、住宅リフォーム総合支援事業は、優先的に採択している移住世帯の申込みが予算枠の約2倍あり、効果的な制度となっている。</p>
	<p>【課題】</p>
	<p>【今後の方向性】</p> <p>現在、市が実施している移住・定住関連施策の市ホームページや市公式フェイスブック等あらゆる媒体を活用して広く周知するとともに、平成30年度に実施する空き家実態調査による空き家所有者に対する意向調査を踏まえ、利活用の意向がない所有者に対し、空き家バンクの物件登録を勧め、移住・定住促進のために必要な施策に関して、ニーズを収集しながら、より効果的な施策を検討していく。</p> <p>各事業の諸課題については具体的な施策を検討し、解消に取り組んでいく。</p>

No.	2-5	重点政策名	2. 新しい人の流れによるまちの賑わいづくり
主管課	文化振興課	施策名	(5) 文化創造都市の推進
目的・概要	①ユネスコ創造都市ネットワークへの参加 ユネスコ創造都市ネットワークの加盟都市などとの交流を深めながら、映像文化を基軸として、多彩で豊富な文化資産や地域資産を総合的に活用し、持続可能な魅力あるまちづくりを推進していきます。		

成果指標	指標名	当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31
		創造都市推進事業数	0事業	10事業	-	7事業	9事業	
	山形国際ドキュメンタリー映画祭入場者数(再掲)	22,353人	26,000人	24,290人	-	22,089人		

主要事業名	事業費(千円)						進捗状況
	H27決算	H28決算	H29:決算	H30予算	H31	合計	
文化創造都市推進事業	8,544	13,963	8,379	10,000			事業中
	事業概要	【H28】ユネスコ創造都市ネットワークへの平成29年度の加盟認定を目指すと共に、創造都市推進事業を実施した。 【H29】創造都市推進事業を実施するとともに、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟申請を行い、加盟認定となった。					
	課題等						
山形国際ドキュメンタリー映画祭開催費補助事業(再掲)	99,848	49,711	99,916	50,000			事業中
	事業概要	【H28】「山形国際ドキュメンタリー映画祭2017」の開催のための準備事業に対する補助 【H29】「山形国際ドキュメンタリー映画祭2017」の開催補助 入場者計画 H27:22,000人 H29:25,000人 H31:26,000人					
	課題等	入場者の増加につながるPRや事業内容について検討していく。					
	108,392	63,674	108,295	60,000	0	0	

評価結果	内容
	<p>【評価】 文化創造都市推進事業は、計画通り進んでいる。 山形国際ドキュメンタリー映画祭開催費補助事業は、平成29年度の入場者計画(25,000人)を下回り、前回開催に比べても入場者数は減少している。</p> <p>【課題】 山形国際ドキュメンタリー映画祭開催費補助事業は、入場者の増加を図る取組み(PRや事業内容など)を検討する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 山形国際ドキュメンタリー映画祭開催費補助事業は、創造都市事業との連携やイベント、各種上映会等の充実を図っていく。</p>